



# シンポジウム 21世紀日本における学術の展望



日時：2010年7月3日（土）13時－17時

場所：専修大学（神田キャンパス）7号館731教室

（東京都千代田区神田神保町3-8）

主催：専修大学社会科学研究所、同今村法律研究室、同法学研究所

日本学術会議日本の展望委員会

2010年4月5日、日本学術会議日本の展望委員会から「日本の展望－学術からの提言2010」が公表されました。学術とは何かという原点的問題から出発し、社会的課題の解決および学術の営みについて言及しながら、21世紀の日本における学術のあり方について提言するものです（詳しくは、<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/tenbou/teigen.html> をご覧になってください）。

提言内容は、われわれ学術の営みに携わるすべての者が持続的に議論し実践してゆかねばならないものばかりです。主催の3研究所も学術の営みの一端を担い社会的課題の解決に寄与することを使命としており、同提言についての理解を深め、日頃の研究・教育活動に生かしたいと考え、本シンポジウムを企画いたしました。

幸いにして、企画の趣旨に賛同いただいた日本学術会議日本の展望委員会との共催というかたちで開催する運びとなりました。

学術の営みに直接携わる方々だけではなく、わが国の学術の未来に関心のある一般の方々、あるいは学生諸君にとっても有意義なものであると考えております。奮ってご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

## ★★★★★ プログラム ★★★★★

### 【開会の挨拶】

●家永登氏（専修大学教授・専修大学今村法律研究室室長）

### 【報告】

1. 「日本の展望－学術からの提言2010」について－背景・目的・概要・意義－  
●広渡清吾氏（専修大学教授・日本学術会議第一部部長、法学）
2. 日本の科学・技術政策をどう展望するか  
●海部宣男氏（放送大学教授・日本学術会議第三部会員、天文学）
3. 持続可能な世界をどのように構築するか  
●鷲谷いづみ氏（東京大学教授・日本学術会議第二部幹事、生物学）
4. 21世紀の課題としての知と教養の再構築  
●藤田英典氏（立教大学教授・日本学術会議第一部会員、教育学）
5. 人間と人間の関係の再構築と人文・社会科学の役割  
●大沢真理氏（東京大学教授・日本学術会議第一部会員、経済学）

### 【コメント】

- 福島利夫氏（専修大学教授、経済学）
- 坂本武憲氏（専修大学教授・法学部長、法学）

### 【ディスカッション】

### 【閉会の挨拶】

●町田俊彦氏（専修大学教授・専修大学社会科学研究所所長）

〔問い合わせ先〕

専修大学法学研究所 (<http://www.senshu-u.ac.jp/~off1013/index.html>)

〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8

The Center for Legal and Political Studies, Senshu University  
3-8 jimbouchou kanda chiyo-da-ku Tokyo Japan

E-mail [houken@isc.senshu-u.ac.jp](mailto:houken@isc.senshu-u.ac.jp)